



Rotary International District2510 2021 June

GOVERNOR'S Monthly Letter

2020-2021年度 ガバナー月信



ロータリーは機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2510地区
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL/011-207-2510 FAX/011-207-2512
E-MAIL/rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!
~これからの100年に向けて~

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

CONTENTS

●ガバナーメッセージ.....	1	●ハイライトよねやま.....	11
●地区職業奉仕委員会<守・破・離の離>.....	2	●米山奨学生の紹介.....	13
●地区大会報告地区<大会を終えて>.....	3	●ロータリーコーディネーターNEWS.....	14
●2021-2022年度地区研修・協議会報告.....	5	●第1地域RRFC便り.....	15
●活動報告・地区RLI委員会.....	6	●地区カレンダー(6月).....	19
●ガバナー公式訪問報告／新会員のご紹介.....	7	●ロータリー日本100年史販売・操作方法.....	20
●訃報.....	8	●会員数・例会数.....	22
●米山奨学生の紹介.....	9	●表紙の解説／ICT委員会からお知らせ.....	表3
●米山記念奨学会寄付／ロータリー財団寄付.....	10		



国際ロータリー 第2510地区
2020-2021年度ガバナー

福井 敬悟

(札幌手稲RC)

いよいよ私のガバナーとしての年度も早いもので最終月になりました。新型コロナウイルスもようやくワクチン接種が始まりましたが、依然として収束の兆しを感じられるとは言えません。未だ度重なる行動制限と予断を許さない経済活動を余儀なくされている現在、皆様におかれては日々事業におけるご苦心とともに、例会の催否から次年度に向かう計画など、多方面に亘って山積する課題に対し、ますます厳しいご決断に苦慮されていることと推察いたします。そのような中、地区大会を無観客オンラインで、そしてそのことによって減少いたしました「親睦ゴルフ大会」を無事開催、二日間を終えることが出来ました。地区大会実行委員会の皆様には3年越しでいろいろ企画を考えて頂きご苦勞をかけてしまいました。

ご協力頂いた札幌幌南RC、札幌手稲RC、そして制作部門を引き受けて頂いた方々、副音声配信の西方会員、玉井会員、地区委員会活動紹介にご協力頂いた委員会の皆様、本当にありがとうございました。全てが、未だ経験の無い中での大会でしたが、終わってからの反響も多方面から高い評価を頂いております。本大会はコロナ禍だからこそ出来た大会ですが、水野RI会長代理からも二重丸の富士山を頂き、しっかりとコロナに負けていない大会になり、多くの人に認められたと確信しております。深く感謝申し上げます。本大会、副音声の視聴は一週間で延べ3,500人を超えることが出来ました。まだご覧になっていない方は第2510地区ホームページから視聴してみてください。

さて、6月はロータリー親睦月間です。クラブと地区は、特に6月中に親睦活動を推進するように奨励されています。「例会なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし」と、親睦と奉仕はロータリーを支える大きな柱です。コロナ禍で例会を行うことが出来ず、親睦「Fellowship」を深める機会に苦慮した一年です。

ポール・ハリスが日本を訪問の際に、ロータリークラブ設立の動機を尋ねた時「ただ寂しかったから」と答えたと言われています。各種の職業から政治や宗教の立場を離れて、お互いの意見をおおらかに認め合えるような人(多様性)、一人ずつ選んで親睦団体を作ったという構想からロータリークラブが設立されました。1906年のシカゴRC定款第2条目的に、1.会員の事業上の利益の促進 2.社交クラブに付随する良き親睦と、その他特に必要と思われる事項の推進と示されています。

互惠取引と親睦を目的としていたロータリーは、奉仕理念を学び定款目的から「親睦」は削除され現在は、定款第5条目的の第1.知り合いを広めることによって奉仕の機会とすることとされています。

クラブ基盤の本質はなんといっても会員同士の親睦にあります。

我々ロータリアンは、クラブでの親睦を通じて友情を育み、笑顔になり、高潔性を持ち、多様性を受け入れる寛容さを持ち、リーダーシップを発揮して、自ら奉仕活動を実践していきましょう(=中核的価値観) Fellowship(親睦)の、Fellowとは同じ仲間を持った仲間、Shipとはその関係を維持する事です。共に行動することで生まれる友情の感情・協調、仲間意識・連帯感である事を根底として親睦活動、例会を大切にしていかなければなりません。例会をはじめ諸会合に出席をして、少しずつ親睦・奉仕を中心としたロータリー精神・活動を学んでいきます。そして「Enter to Learn, Go Forth to Serve」「Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action」を実践していくこととなります。

コロナ禍で例会の在り方が従来通り行うことがまだ難しい日々が続きます。会員同士が友情で繋がり、親睦を図っていくには何が必要なのかを、クラブ会員皆様で考え、行動を起こしましょう。

コロナ禍でデジタル化が加速度的に進みました。それに対応できない方もいらっしゃいます。会員同士の繋がりを絶やす事のない公平性をもっていかなければなりません。

コロナ禍で各クラブに於かれましては慌ただしく年度引継ぎ運営の時期となりますが、最後までクラブ運営に力を注ぎ、悔いのないように年度を全うして頂きますようお願いいたします。

会長、幹事、クラブ会員の皆様、ガバナー補佐そして地区委員会の皆様と一堂に会する機会が無いまま年度が過ぎようとしています。いつか皆様とお目にかかり、語り合えることを楽しみにしております。

皆様のご健勝ご多幸、そしてクラブのより一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

守・破・離の「離」

地区職業奉仕委員会

委員長 玉井 清治 (函館亀田RC)



福井敬悟ガバナーの年度もあと残すところ僅かとなりました。

ガバナーが提唱したロータリーの「守」「破」「離」ですが、「守」で基本を身につけ、会員基盤を維持し、「破」で変化に対応すべくクラブ運営を見直す。それでは「離」とはどういう事なのでしょう。

日本古来の茶道や武道の「守破離」の考えは、師の流儀・型を習い「守」ること。その型を自分と照らし合わせ、自分に合ったより良いと思われる型をつくることにより、既存の型を「破」ること。そして、自己の研究を集大成し、独自の境地を拓いて一流を編み出すこと。師匠の型、そして自分自身が造り出した個人は、自分自身と技についてよく理解しているため、型から「離」れることにあります。福井ガバナーは、もちろんロータリーを離れることを言っているわけではありません。「守」と「破」で確立したものを「大切に維持し続ける」ことを示していると私は思っております。

職業奉仕の観点から見ても、自分の事業所を最高のレベルに到達することは出来ても、未永く維持していくことは、並大抵なことではありません。ロータリークラブも同様で、ロータリーの目的に向かって、どう目標を設定するか。それが守・破・離の「離」なはず。

近年のロータリーは、いままで長年続けられてきた規則が大幅に緩和されました。2016年には例会、出席、会員身分に関する例外規定の導入。2019年には入会に対する職業分類制度の廃止。2020年にはローターアクトクラブのRI加盟が認証されるなど、伝統的価値観や風習が廃止または変更され、最近ではDEI(Diversity多様性、Equity平等性、Inclusion包括性)が強く叫ばれるようになり、国際ロータリーは更に踏み込んでLGBTの承認やSRF(ロータリー未来形成)が公表されるなど、急速にロータリーは変化しております。この変化は、果たして誰のために行っている変化なのでしょう。もちろん国際ロータリーの会員であるロータリークラブの繁栄のためであります。素晴らしい奉仕活動をするロータリークラブは、誰からの手助けも受けずに成長し続け、地域社会と会員自らの事業所とともに将来繁栄出来るように今一層努力する必要があると思います。

ロータリークラブには大幅な「自治権」が認められております。自分たちのクラブの規約(細則)や行動、奉仕事業などは他のクラブや地区や国際ロータリーまでにも、とやかく言われることがないのです。(RI定款・細則・標準ロータリークラブ定款などに大きく逸脱しない限り)ロー

タリーはピラミット型の組織構造ではありません。「最初にクラブありき」が基本的な考え方です。つまり、ロータリーでは、何よりもクラブの自治権が優先されるのです。

クラブを大切に維持するためには30名なら30名、70名なら70名の規模の実情に合わせた大胆な委員会の統廃合やクラブ細則の見直しをする必要があると思います。また、クラブの会員が職場を抜け出して出席するデメリット以上のメリットをクラブ例会のプログラムは果たさなければなりません。

また、ロータリーは1年で交代する考え方をもった組織ですので、自分に会長や幹事が回ってきた際には「1年間、穏便にすませよう」といったマイナス的考え方が存在しがちですが、これは改革等の変化を妨げ、過去を踏襲しようという考えにとかくなりがちです。しかし、批判等を恐れることなく、会長、幹事、理事会が仲良く協力し合い、クラブを良い方向に改革し、牽引すれば力強いクラブになることは間違いありません。その行動が福井ガバナーの提唱する「離」に繋がることと思います。

福井ガバナーは、ノミニーの時から一貫して「クラブ奉仕の重要性」を第一に発信してまいりました。この想いを私たちロータリークラブは単年度の提唱に留めず、これからも進み続けるロータリークラブ発展の目標として、「守」「破」「離」を掲げ続けなければならないと思います。

先日、当地区の地区大会もオンラインを中心に盛大の中、開催されました。

サブチャンネルのインタビューにて「ロータリーを含め、世の中全体がたいへんピンチな時ですが、このピンチをチャンスと捉えて、前向きに次のステップに向かっていく。これこそがガバナーが提唱する守・破・離の底流にある大きな基本ではないか。」と小山秀昭地区代表幹事がおっしゃった言葉が私は印象的でした。更に代表幹事は「今こそロータリーの底力が試される時である。こういう時だからこそ、地区大会のあり方を根底から見直す良い機会だったと思うし、もし、今後このような事態が訪れたとしたならばこの地区大会を参考にさせていただきたいし、後世に伝えていきたい」と、素晴らしい守・破・離の「離」を説かれました。守・破・離は私たちロータリークラブの永遠のテーマです。

あと少して終了する福井年度から私たちは「離」れます。

福井ガバナー!ありがとうございました。
心より感謝申し上げます。



地区大会報告

地区大会を終えて

地区大会実行委員長

池田 和陽 (札幌手稲RC)

2020-2021年度の地区大会を無事に終えることが出来ましたこと、地区内会員の皆様のご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。また、ホストクラブの札幌手稲RCとコホストクラブの札幌幌南RCの皆様のご助力に御礼を申し上げます。

近年の会員登録数1,600名前を上回り、1,700名を越え、また例年1桁台であったのに32クラブが全員登録していただけたことは、初のオンライン配信による地区大会への関心の高さの表れと感じております。なお、4月中旬から新型コロナウイルス感染症拡大が急激な勢いとなり、実行委員会として検討の上、会長・幹事会及び記念懇親会の中止を決意し、本会議の出席者も最小限することと決定いたしました。そのため、大会直前の5月1日に大会要領の変更(参加者・登録料など)のお知らせや関係書類(決議案等の認証など)を、大型連休中を考慮して各クラブと会長宅に郵送させていただくこととなりました。急な変更への皆様のご協力のお陰を持ちまして、すべての準備が整い大会当日を迎えることが出来ました。大会は、水野功RI会長代理より大会所感の中で好評をいただき、無事成功裏に終えられたと思っております。

さて、今大会を振り返って見ますと、実行委員会立ち上げ時はコロナ禍ではなかったのが通常の地区大会を目指しておりました。特に初企画として「大物産フェア」を開催しようと計画しておりましたが、突然の新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって様相は一変し、大会延期に追い込まれました。ここからコロナ禍との戦いと試行錯誤の運営が始まりました。幸いにも今年度は、福井敬悟ガバナーが「ロータリーのIT化推進」を提唱されていたので、すぐにハイブリット方式に切り替え、オンライン配信を取り入れた大会企画に変更いたしました。

今大会は「オンライン配信」「サブチャンネル配信」「zoomの活用」「大会予告編と地区委員会活動チャンネルの配信」「動画を取り入れたクラブ紹介」「知事、市長のビデオ祝辞」「オンライン登録料の設定」「決議案等の事前承認」等々、の初めてづくしでございました。サブチャンネルでは玉井地区職業奉仕委員長と西方地区RYLA委員長の軽快なトークが冴えわたり、所々に現れるゲストの皆様が興味深いお話をされ、大好評でございました。通常の地区大会に戻っても、オンライン配信やサブチャンネルの様な企画は是非実施してほしいと思います。会員皆様の関心の高さにご協力を以て、メインチャンネルとサブチャンネル合わせて3000回を優に超えるご視聴をいただいております。クラブ紹介も動画を取り入れると、クラブの雰囲気や特徴がよく伝わり、クラブ会員全員で出演すると参加意識の向上につながり、とても楽しい紹介映像になりました。記念講演は、ちょっと敷居の高い「能」を観世喜正氏の分かりやすいお話や解説映像を取り入れたこと、何よりお人柄によって大好評でございました。今後ITの活用はロータリーに取って必要不可欠なものになって行くものと深く実感いたしました。

この様に初体験の地区大会を経験すると、今までとは違った様々なものが見えてまいりました。中でも「オンライン配信登録料3,500円」です。金額については色々なご意見がございましたが、

多くの会員が登録しやすい金額と考えました。一番苦心したのが、登録人数の予想です。当り前ですが、人数がはっきりしないと予算が立ちません。登録の締め切りは3月末ですから大会一ヶ月半前です。数千万円をかけた事業で直前まで予算が明確に出来ないのは、摩訶不思議な事としか言いようがありません。普通は予算あつての事業ではないでしょうか。大会地区補助金と前年度の登録者数から大会事業費を1,100万円くらい(例年の1/3)と見込みました。ところが、大会リーフレット、プログラム小冊子、会場費、本会議運営制作費、褒賞費、謝礼交通費、事務経費などは、オンライン大会であっても例年通りの予算が必要になります。そこで、経費節減のため外注業者への依頼を減らし、出来る限りホストクラブの皆様には「手作り」をお願いいたしました。よって、クラブ紹介映像と物故者ビデオ制作、本会議シナリオ作成、配信プロデュース、必要書類の製作・発送、登録・褒賞者の手続き、今年度テーマの三色の扉の作成など、リーフレット、小冊子、記録誌以外はほとんどホストクラブの会員の皆様の手弁当で行ないました。本当にホストクラブの皆様には感謝に堪えません。

ご批判を承知でこの解決策を提案するなら、たとえば、最初に地区大会の事業内容と予算を提示し、全クラブの承認を得てから、地区内会員の全員登録で予算を確保すると良いのでは?ロータリーに強制は存在しないとは言え、クラブ会費の一定額は義務になっていると思います。ロータリアンにとっての地区大会の意義を考えれば全員登録は義務とするのが必然と感じます。また、ホストクラブの時の地区大会で全員登録してくれたクラブが、次のホストの時には全員登録するが、全員登録していなかったクラブがホストの時は登録を自由にさせ、結果全員登録に至らない。これでは「報復登録」と言われても致し方ないのでは?この様な話をすると高名なロータリアンの皆様からお叱りを受けると思いますが、実際この様な下世話な話題が陰で飛び交っているのも事実です。登録システムに欠陥があると、思わぬ誤解や醜い言動が出る原因となります。

今大会のテーマ「守・破・離の心で、これからの100年の扉を開きましょう」、扉を開くと必ずしも夢と希望に満ち溢れたものばかりではなく、時には困難な変革に手をつけたりもしなければなりません。全会員が公平に納得のいく登録料とはいくらなのか?地区大会そのものを議論する場がないのも事実です。愚見を申し上げましたがお許しをいただければ幸いに存じます。実行委員長と言う大役を仰せつかり、様々な面で大変貴重な経験をさせていただきましたこと、今後のロータリー活動でお返しをしたいと思っております。

最後に、親睦ゴルフ大会も天候に恵まれ無事開催出来、賞品の発送も終わりました。ご登録をいただきました皆様には、なるべく早く記録誌をお届けいたしますので、今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

あらためて、会員皆様に感謝と御礼を申し上げ、地区大会のご報告とさせていただきます。

札幌パークホテル 3Fパークホール



福井ガバナー



池田地区大会実行委員長



水野RI会長代理



平川ホストクラブ会長

Rotary ローターは 機会を開く

2020-2021 Rotary International District 2510

Area Meeting Program

2020-2021年度 国際ロータリー 第2510地区

地区大会

プログラム

大会テーマ
「守・破離」の心で
これからの100年の扉を
開きましょう!

■日時/2021年5月16日(日) 同時オンライン配信

■会場/札幌パークホテル

ホストクラブ/札幌手稲ロータリークラブ
コホストクラブ/札幌幌南ロータリークラブ



福井ガバナー・令夫人



記念講演

2021-2022年度 地区研修・協議会 報告



国際ロータリー第2510地区
次期地区代表幹事

能戸 彰
(函館五稜郭RC)

4月15日(土)に開催された「地区研修・協議会」は、時間こそ午前10時から午後4時30分までと、例年とはそれほど変わらぬ時間帯ではあります。例年であれば7~8の分科会が別会場で開催されますが、このコロナ禍の中で最小限の会員でなおかつソーシャルディスタンスに配慮した結果、1会場で各クラブの会長、幹事、五大奉仕委員長は同時オンライン配信にて地元でパソコンに向かっていただくという開催となりました。

9:30に受付を開始し、10:00に大日向豊吉ガバナーエレクトによる開会の点鐘、福井敬悟ガバナーのご挨拶の後、ガバナーエレクトの基調講演があり、午前の部、第一分科会「会長・幹事部門」が始まりました。会長部門ではリーダーの大日向ガバナーエレクトがzoomでのやり取りで、ガバナー補佐や各クラブ会長と画面を通してではありますが、一方的に講演を聞くのではなく、お互いの意見交換を行い、ロータリーの地区研修・協議会の中でも特筆に値する方法ではなかったのかなと思います。幹事部門では私が、幹事の役割と責務について述べさせていただきました。出演者は隣室でパソコンのモニターの前で話をし、会議場では出席者がスクリーンを見ているという構図です。予算案については横岡次期地区財務委員長に説明いただき、各クラブ会長より、リモートにより承認をいただきました。続いて堀元次期地区ICT委員長よりMyRotaryへの登録についての説明があり、羽部次期地区研修リーダー(PG)のお話、アドバイザーである福井ガバナーより所感を述べていただき、午前中の第一分科会は終了いたしました。



昼食の休憩後、第二分科会「クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕部門」が始まりました。第二分科会は玉井次期地区職業奉仕委員長が進行を担当し、北川次期地区クラブ奉仕委員長、前述の玉井委員長、石本次期地区社会奉仕委員長、富岡次期地区国際奉仕・VTT委員長から講演があり、講評総括を武部次期地区研修委員(PG)よりお話いただき第二分科会を終了いたしました。

続いて、第三分科会「青少年部門」は山口次期地区青少年奉仕委員長の進行で、西村次期地区青少年交換委員長、川本次期地区ローターアクト委員長、大西次期地区インターアクト委員長、西方次期地区RYLA委員長より、それぞれの大日向ガバナーエレクトの「地区方針」を基にした活動計画等のお話をいただき、最後に講評を細川好弘バスターガバナーがそれぞれの計画に対して丁寧なコメントが送られました。

これですべての分科会が終了し、石丸修太郎ガバナー・ノミニーより所感が述べられ、大日向ガバナーエレクトより謝辞があり、閉会の点鐘で幕を閉じさせていただきました。

zoom参加の皆様、会場出席の皆様本当にありがとうございました。



活動報告 地区 RLI 委員会

オンラインRLI(ロータリーリーダーシップ研究会) セミナーを終えて

今年度からのチャレンジとして、オンラインによるRLIセミナーをパートI～パートIIIまでの3回開催させていただき、5月23日第2期全てのカリキュラムを終了致しました。ご参加いただき、すべてのセッションを受けていただいた方が、36名いらっしゃいました。受講された皆様が、今後各クラブ活性化のため、リーダーシップを発揮されることを心底よりご祈念申し上げます。

又、この中からディスカッションリーダー(DL)として今後も研鑽される方が、多数おいでになり地区活性化・ロータリー活性化のため活動されることを願っております。ファシリテーションは、価値観の多様化が進んだ社会にとって、必要なスキルとなります。36名の皆様には、是非是非、私どもと一緒に地区全会員への奉仕として、自己研鑽の場として、DLとしての成長とロータリー観の確立を目指しましょう。この場をお借りして、お願い申し上げます。

入会歴の浅い会員にもRLIセミナーに参加していただきたいという、多くのご意見がございます。今後の活動につきましては、委員会・DLで十分に意見交換を行い、ビジョン設定していきたいと思っております。活動の幅を広げる為には、DLの人数が増えることが急務と考えております。1度のセミナーにご参加いただけるベストな人数は、60名前後と限りがあります。セミナーの質を担保し、多くの皆様にご参加いただくために、現DLの皆様は熱意をもって研修を重ね、セミナー開催のためご貢献いただいております。リアルで行っていたセミナーを、コロナ禍のためオンラインに変更せざるを得なくなり、不慣れなzoomによるDL研修も真摯に行ってまいりました。

今後のロータリー活動には、ITの活用が必須となっていくように思います。コロナ禍が収束致しましても、例会を欠席される方のため、zoomによる参加を常設する必要もあるかもしれません。現状の例会休会を、いつまでも続けるわけには行きませ

ん。会員間交流は、ロータリーのみならずどの様な組織にとっても必要不可欠であります。本来は直接お会いし、アイコンタクトを取りながらお話できるのが一番ですが、お電話で顔を見ながらお話する事が一般的な時代が直ぐ近くまで来ているのかもしれませんが。小学生からプログラミングを学ぶ時代になりました。低機能大型電算機の時代から50年が経過し、スマートフォン一つで、ネット検索・zoom・商品購入等々おおよそのことができる時代になりました。IT音痴を自認している私は、周りの皆様にお教えいただきながら必死について行っている状況です。諦めることなく、楽しい活動の輪を皆様とともに広げてまいりたいと存じます。

知らないことを知る喜び、初めての方と楽しく会話できる喜び、RLIを通しロータリーを楽しみましょう!!

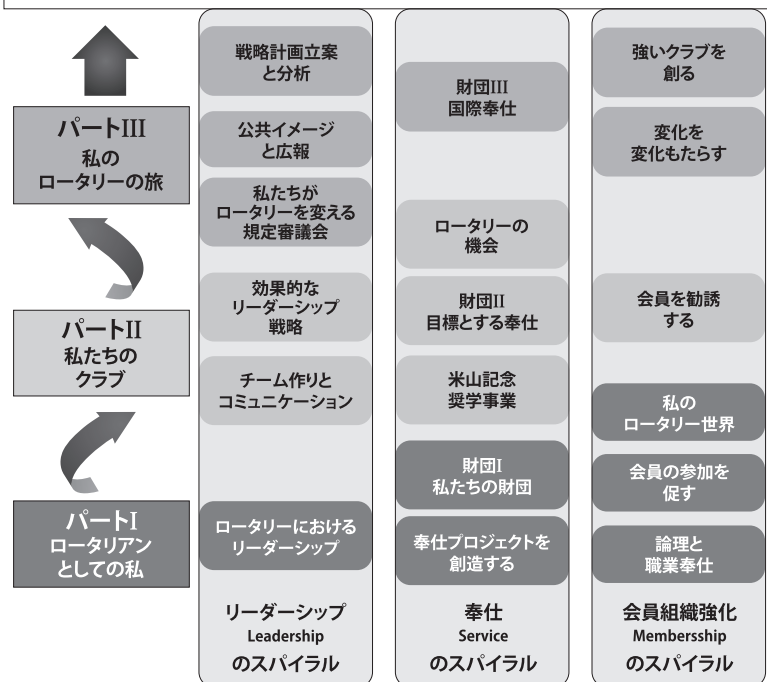


国際ロータリー
第2510地区RLI委員会
委員長
渡邊 葉子
(札幌西北RC)



RLIカリキュラムのスパイラル(らせんの展開)

ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により、掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

札幌ロータリークラブ

4月21日(水)

4月21日(水)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当初の予定より約半年遅れて福井敬悟ガバナー、青木貞康ガバナー補佐、和田敬友地区幹事をお迎えし、当地区69番目のガバナー公式訪問が行われました。

例年開催しているクラブ・アッセンブリーは感染症対策のため、今年度は開催せず、午前11時30分より指川司会長、中田隆博会長エレクト、小金澤健司幹事を交え、和やかな雰囲気の中、会長・幹事懇談会を開催しました。

12時30分に例会を開催し、福井ガバナーよりホルガー・クナーCRI会長のテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』から、地区の目標・方針を「守・破・離の心で初心を忘れず!変化を恐れず!希望の扉を開きましょう!」とされた説明があり、地区目標の「日本のロータリー100周年を祝おう」に向けて、1.IT活用の推進と公共イメージの向上、2.会員基盤の強化、3.1クラブ1プロジェクトの推進、4.ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化、5.クラブ戦略計画の作成に期待とし、新型コロナはロータリーを更に強くするチャンスであるとご講演され、今後、当クラブの発展に向けての貴重なアドバイスを頂きました。



新会員のご紹介

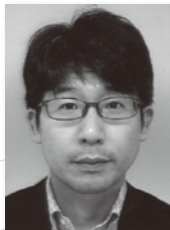
(敬称略)

七飯RC新会員

吉田 幸洋

令和3年4月1日
入会

職業分類
社会福祉事業



岩見沢RC新会員

高島 信之

令和3年5月6日
入会

職業分類：普通銀行



苫小牧RC新会員

田口 裕司

令和3年5月14日
入会

職業分類：電気事業



苫小牧RC新会員

中島 康博

令和3年5月14日
入会

職業分類
機械器具・材料卸売



苫小牧東RC新会員

中村 浩司

令和3年6月3日
入会

職業分類
人材派遣会社



訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



長沼RC
佐々木 信雄 会員 2021年4月21日ご逝去（享年 67歳）

【ロータリー歴】 2003年8月25日 長沼ロータリークラブ入会
2007-2008年度 会長
2020-2021年度 会員増強委員長

【表 彰】 ポール・ハリス・フェロー、米山功労者



札幌西北RC
森本 正夫 会員 **パストガバナー**
2021年6月1日ご逝去（享年 89歳）

【ロータリー歴】 1977年4月21日 チャーターメンバーとして入会
1981-1982年度 副会長
1983-1984年度 会長
1999-2000年度 ガバナー

【表 彰】 財団寄付 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（6回）
米山寄付 第5回米山功労者
クラブ永年出席100%年数 40年（44年）



Y ONEYAMA SCHOLARSHIP

米山奨学生の紹介

日本で植物幹細胞を研究し、人の健康に利用することが夢

アリサ ヴィアチェスラヴォヴァ(ロシア) 北海道大学・札幌南RC

ロシアのモスクワ出身のヴィアチェスラヴォヴァ アリサと申します。2018年に北海道大学大学院に入学し、現在、4年生の勉強を始めています。子供の頃から、生物学、特に植物生物学が好きでした。モスクワのモスクワ州立大学を卒業後、植物幹細胞の研究に興味を持つようになりました。植物の可能性や、植物が医学や美容の分野の人々をどのように助けることができるかについて、私たちはまだほとんど知らないようです。ですから、大学院で研究を続けたいと思いました。

さらに私は昔から日本が好きでしたから、留学先を選ぶのは簡単でした。日本の魅力は、伝統文化と新技術の素晴らしい組み合わせだと思います。日本に住んでいたり、働いている外国人は、この意見に賛成してくれるでしょう。また、日本からのノーベル賞受賞者の数と科学論文のレベルの高さは、日本の科学のレベルの高さを意味します。そのため、北海道大学の植物幹細胞研究室での研究が承認されたときは、心から嬉しく思いました。

北海道大学での勉強は、最初からとても面白かったです。植物幹細胞を研究する研究室にすることができてとても幸運です。私たちの研究室では、新しいアイデアや意見をいつでも歓迎します。その科学的自由は、研究をより深く掘り下げ、本当に興味深いトピックに取り組むのに役立ちます。

iPSなどの幹細胞については、誰もが聞いたことがあると思います。幹細胞は、皮膚細胞や骨細胞など、あらゆる細胞に成長できる細胞です。幹細胞には、体に良い影響を与える有効成分が多く含まれています。現在、動物の幹細胞に多くの関心が寄せられています。たとえば、動物の幹細胞は再生医療で使用されます。ただし、動物の細胞を使用できるのか、という倫理的問題が依然として残されます。また、このような手術はかなり高額です。幹細胞は、再生医療に加えて、美容業界でも使用されています。しかし、そのような化粧品は非常に高価であるため、購入できる顧客は限られてしまいます。

さて、ここで私の研究に話を戻します。私は研究室で、コケ幹細胞を研究しています。私はこれらの細胞がどのように形成され、葉などの植物細胞がどのように幹細胞に変わるかを研究しています。私が感銘したのは、植物はあらゆる器官から幹細胞を自然に生産することができることです。これらのことから、植物は製薬業界や美容業界での活躍に大きな可能性を秘めているように思われます。

今日、植物幹細胞で作られた薬が既にいくらか存在します。それは、この研究分野が順調に発展していることを意味します。そして、植物には、高い安全性と低コストという利点があります。

私の夢は、日本の製薬業界や美容業界での仕事に関連しています。私は植物の幹細胞をベースに、誰もが使える効果的な医薬品や製品を作りたいと思っています。その一例が化粧品です。私は、人は容姿が良くなると、心の健康状態も良くなり、仕事のエネルギーが増すものだと思います。ですから、私は多くの方々が、心身ともに健康でいられるための手助けをしたいです。

ロータリー奨学金は、お金を心配せずに研究室での仕事に集中できるので、夢に向かって大きく進むことができます。また、ロータリークラブで興味深い方々と出会うこともできました。今後ともより親交を深めて、一緒に多くの人々の手助けができることを願っています。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌 R C	小山 司	会員	(7回)	4月28日	新札幌 R C	宮川 明	会員	(3回)	4月27日
札幌西 R C	石丸修太郎	会員	(9回)	4月21日	新札幌 R C	大石 清司	会員	(5回)	4月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新札幌 R C	宮川 明	会員	(2回)	4月28日
小樽南 R C	松浦 光紀	会員	(3回)	4月 9日
伊達 R C	浅水 勝男	会員	(2回)	4月30日
伊達 R C	木村 定吉	会員	(3回)	4月30日
七飯 R C	川又 修治	会員	(1回)	4月 8日
七飯 R C	工藤 悟	会員	(1回)	4月 8日
七飯 R C	宮村 拓郎	会員	(2回)	4月 8日
七飯 R C	佐藤 毅	会員	(2回)	4月 8日
七飯 R C	菅原 昭	会員	(2回)	4月 8日
七飯 R C	山内 一男	会員	(2回)	4月 8日
七飯 R C	赤塚 章	会員	(5回)	4月 8日

ポール・ハリス・フェロー

滝川 R C	村田 雅彦	会員	4月30日
美唄 R C	川上 譲治	会員	4月30日
伊達 R C	林 正樹	会員	4月30日
伊達 R C	齋藤 誠	会員	4月30日
伊達 R C	辻木 勝夫	会員	4月30日
七飯 R C	石川 強	会員	4月 8日
七飯 R C	小滝 達也	会員	4月 8日
七飯 R C	向井 克彦	会員	4月 8日
七飯 R C	新町 学	会員	4月 8日
七飯 R C	吉田 和隆	会員	4月 8日





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

2021.5.13

VOL.254

1 軍政続くミャンマーから学友レポート

今年2月1日から、毎日の悲しい出来事に、ああこれが夢だったら…と考えぬ日はありません。心が壊れそうになるのを耐え、平和と安全を祈る日々です。

あの日から私たちの生活は一変しました。今まで毎日やる事がたくさんありましたが、できる事がほんの僅かに限られ、何をするにも不安がつきまといま。インターネットは企業用と光ファイバーしか繋がらないので、多くの市民は外部の情報を得ることができません。私の教室では、せめて子供たちの教育だけは守りたいと、オンライン授業を続けていますが、それも困難な状況です。最低限の買い物や銀行へ行くといった外出すら安全ではありません。



ある日のデモの様子(学友が参加しているわけではありません)

今までたくさんの苦勞を乗り越えてきましたが、今回ほど辛いものはありません。一番辛いのは全面的に自由がなくなった事です。自由に話せない、自由に動けない、自由に教育が受けられない、自由に働けない、自由に人を助ける事ができない、自由にボランティアができない—。

学友会メンバーとは全員は連絡が取れていませんが、皆無事だと思います。ただ、最近是有名人、医者、ボランティア団体などが狙われ、逮捕されたりしています。集まると目をつけられるため、今ミャンマーではロータリークラブの例会や活動、米山学友会活動を行うことができません。互いの連絡も控えている状況です。

ミャンマーの若者は勇気があり、心優しく、賢い人が多いです。私はこの国の未来のために、これからもミャンマーで次世代の若者や子供を育てる仕事を続けて行きたいです。

国内は経済状況が悪化し、支援が必要な国民が増えています。ミャンマーの平和な日常を皆の力で取り戻し、今後もロータリーの活動がミャンマーで継続できるよう願っています。皆様の応援にいつも心から感謝しています。

(匿名希望2010-11年度米山奨学生より)

2 被害を受けた家庭へ物資などを提供

ミャンマーの現状に心を痛めた大阪在住のロータリアンが支援を申し出たことを受け、在日ミャンマー人学友(匿名希望2018-20年度米山奨学生)が家族の協力のもと、現地で被害を受けた家庭約30軒に米などの食料と生活必需品を

提供したほか、父親を亡くした高校生へ1ヶ月分の学費を寄付しました。



寄付者の氏名が添えられた物資を受け取る人々



3 「学友の集い」で米山をアピール!

4月10日、第2580地区(東京)が主催する第2回「学友の集い」が開かれ、学友やロータリアンなど97人が会場に集まったほか、オンラインでも28人が参加しました。

このイベントは、ロータリー学友(青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ロータリー財団奨学金、米山奨学金などの修了生)が、プログラムや年代を超えて交流できる場として企画されたもので、第1回目は2019年5月に実施されています。



当日は、野生司義光ガバナー、そして第2750地区から参加した青柳薫子青少年奉仕委員長の挨拶に続き、各プログラムの学友代表がそれぞれの活動について報告しました。ロータリー米山奨学生学友会(東京)からは、理事長のイトチャンソクピーアさん(2010-11/東京田無RC)が

登壇し、学友会の活動を報告しました。その後、学友らが中国クラシックダンスと朗読、バイオリン、ピアノや二胡による演奏、モンゴルや沖縄民謡の独唱、三味線と笛による日中伝統楽器合奏などを次々と披露し、会場を沸かせました。最後は、米山学友・現役奨学生27人全員が立ち「上を向いて歩こう」を合奏・合唱しました。

前理事長の梁一強さん(1999-2001/東京四谷RC)は、「昨年、日本のロータリー100周年を記念して企画した『インターナショナルサロン2020』が、新型コロナウイルスのため中止となったが、そこで披露する予定だった演目を発表する機会をいただき、とても感謝している。今後も学友が母国を紹介できるような交流の場を作っていきたい」と、語りました。

4 寄付金速報 —4月単月はやや回復—

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減(普通寄付金:0.4%減、特別寄付金:0.8%減)、約790万円の減少となりました。ただ、4月単月の寄付額を見ると過去3年間で最も多く、復調への兆しも見えます。全国的に例会を休会し

ているクラブが多い中、ロータリアンの皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。まだ収束の見通しが立たず、今後の不安も残りますが、これからも当奨学事業へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

5 「ロータリーの友」で学友の寄稿を連載中!

『ロータリーの友』に毎号、「よねやまだより」のページがあることをご存じでしょうか?

今年度からは好評の新シリーズ、「米山から世界の町へ」を連載中です。米山学友が自分の住む町の紹介や自身の近況をつづりながら、日本のロータリアンへ向けたメッセージを書いています。海外との往来が制限されている昨今ですが、近い将来、ぜひ学友の母国や地元を訪ねてみてはいかがでしょうか。現地から、そうしたレポートを書いてくれる学友がいましたら、seminar@rotary-yoneyama.or.jp(広報担当:野津)までご連絡ください。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当:野津(のづ)・峰(みね)

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2021年 6月号 No.1

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

「地区・クラブにおける継続性」

日本の3地域において、2019～2020、2020～2021年度(第3地域は2018～2019年度から)に「戦略計画」についてのアンケートを当該年度のDGEにお願いしてご回答をいただきました。

このアンケートの3地域のデータについては、近いうちに皆様方にお示しする事が出来ると思っておりますが、今回のコーディネーターニュースでは、第3地域の結果に基づいて述べさせていただきます。なお、本年4月19日に開催された第1、2、3地域合同会議でのデータのすり合わせではほぼ同様の結果ではあったと感じています。

2020～'21年度では地区戦略計画(ビジョン)委員会は、地域内では約91%の地区が委員会活動を開始しています。2018～'19年度の調査では、8地区が委員会を設立し活動開始、2地区が設立はしているが未活動、1地区がまだ委員会を発足していない、という結果でした。2019～'20年度の調査では、発足して活動している地区が8地区、発足しているが活動していないが3地区、という結果でした。紙面の関係でお見せすることが出来ませんが、年度ごとに回答が一致している地区は7地区です。4地区は統一された3年間の統一した進展がありません。このことは地区戦略計画委員会が持続性をもって運営されていない可能性が充分あるものと考えます。そうであればこの点の修正をしていくことをお考えいただきたいと思います。

'20～'21年度で地区ビジョン、中長期目標を決定しているのは7地区、検討中が4地区でした。これも'19～'20年には決定していたのに、'20～'21年には検討中となっている地区が2地区見られました。勿論、もしこの地区がビジョン・中長期計画の見直し・再検討をしているのであれば、これは頼もしいものかと考えます。

各地区内のクラブの戦略計画委員会の設置状況に目を移してみましょう。'20～'21年度でクラブ戦略計画委員会(別名称でも可)の設立は50%以上が6地区、50%以下が5地区です。各クラブの委員会の設立は、50%以下のクラブでも'18～'19年度より着実に委員会設置されているクラブの増加が見られているようです。まだ委員会の設置が整っていないクラブは、担当のガバナー補佐、あるいは地区戦略計画委員会へご相談の上、クラブ会員基盤を堅実なものにして戴きたいと存じます。

地区内でクラブビジョン或いは中長期計画を決めておられる割合が50%を超えている地区は、残念ながら2地区のみに終わっています。これはクラブの委員会の皆様にお力を注いで戴き、是非“クラブの3年5年10年先のクラブのあり方”、“皆様方のクラブの発展”をお考えの上、“クラブのビジョン”をお考え下さい。

ここでもう一度申し上げますが“クラブのビジョン”というのはその年度の“会長のテーマ”“地区ガバナーのテーマ”ではありません、先程申し上げた“自分のクラブの未来の姿”なのです。この中には“未来の奉仕活動を如何にするのか?”“自分のクラブの会員数をどの程度にするのか?”“クラブの資金を如何にするのか?”などなど様々なことが考えられるでしょう。是非クラブで検討をしてみてください。

2012年RI D2660DGを務めさせて戴いた後、地区戦略計画委員会の設立に始まり、地区内クラブに戦略計画委員会設立に力を注いできました。

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーターを務めさせて戴き様々な方に教えられ、様々なことを見せて戴きました。

各クラブが創立時のロータリーに入会した時の“ワクワクした気持ち”を若い世代に伝え、自分が行ってきた奉仕活動でえた“ワクワクとした気持ち”を若い世代に伝えて下さい。

私がいつも「ロータリーを皆様の時代に終息させて良いのですか?私はロータリーは未来に続くものだと考えています。そのためには“若い血の導入”が不可欠です」と申し上げています。

この素晴らしい組織を新しい仲間を加え皆様と共に守っていきましょう!!

第3地域 ロータリーコーディネーター 高島 凱夫(大阪中之島RC)

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2021年 6月号 No.2

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

新型コロナウイルスの感染が始まって以来、約1年半となりますが、まだまだ収まる気配すらありません。

首都圏、関西圏、中部地域などの大都市圏に限らず、全国各地に蔓延しております。

私の居住する四国、愛媛県のような地方都市でもクラスターが発生し、しかも変異株が増加している状況であります。この今まで経験したことのないようなコロナ禍のなかで、私達は企業活動、家庭生活を、また、ロータリーの奉仕活動をどのように過ごしていけば良いのか、今こそロータリアンとしての能力を発揮しなければならない時だと痛感しております。

ロータリーの奉仕活動としては、各地域、各地区、各クラブ共大きな試練にさらされていると思います。

不要不急の外出の自粛、大人数での会合の自粛などの社会的要請に応えるため、諸事業の延期、中止など大変ご苦勞をなさっていると思われます。当地でも多数のクラブが例会そのものを休会せざるを得ない状況で、ロータリーの基本であるクラブ会員同士の親睦、交流さえままならない状況であります。

しかし、こういう時こそ新しい発想で活動を続けて行くべきであると思います。

例会を休会にするクラブもあれば、オンライン例会を開催しているクラブもあると仄聞しております。

知恵をだし合って新しい例会のありかたに挑戦してみるのも面白いと思います。

地区活動としても、各種の方法があろうと思います。

ちなみに、当地区ではガバナーのリーダーシップのもと、連日奮闘している医療現場へ、少しでもお役に立ちたく、パルスオキシメーターを四国4県の医師会に寄贈することと致しました。

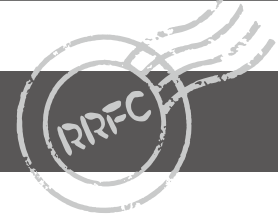
各地区でも、それぞれ各事業を実施されている事と思います。

お互いにコロナに負けないよう頑張りましょう。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 **桑原 征一** (新居浜RC)



第1地域 RRFC便り 5月号



ロータリー平和センターを支える 多大なご寄付に関するお知らせ



RRFC Habu様

ロータリー財団を信じて資産を託し、活動を支援して下さる方々がいることは、非常に恵まれていることだと感じずにはいられません。皆さまのような多くの方の支えがなければ、ロータリー財団の継続は叶いません。財団の発展を後押しして下さる方が増えていることは、とても嬉しいことです。



K.R.ラビンドラン
ロータリー財団管理委員長

ロータリー財団がこの度、中東または北アフリカにロータリー平和センターを設置することを目的とした、オットー&フラン・ウォルター財団からの寄付のご誓約1,550万ドルという特別なご支援をいただいたことを皆さまにお知らせでき、とても嬉しく感じております。

この地域に平和センターを設立することは、多くのロータリアンの長年の願いでもありました。水、石油、宗教という三つが根源的な要因となり、中東はしばしば紛争の中心地となってきました。社会の理解と政治的な善意があれば、中東の平和と調和に希望がもたらされ、ロータリーが目に見える形で貢献することができます。

この可能性を大きく広げてくださったオットー・ウォルター氏とフラン・ウォルター氏のストーリーをここにご紹介したいと思います。

「オットー&フラン・ウォルター・ロータリー平和センター」と名付けられるこの新しい平和センターは、2026年に開設される見込みとなっており、まもなく設置場所の選定手続きが開始されます。今後も皆さまに随時情報を提供してまいります。この度の寛大なご寄付をお寄せくださったオットー&フラン・ウォルター財団(Otto and Fran Walter Foundation)に、深い感謝を表します。また、今回の達成の裏にはパストガバナーであるマーサ・"マーティ"・ヘルマン氏とその配偶者であるフランク氏のご尽力がありました。これらの方々にも心から感謝を申し上げます。

心を込めて

2020-21年度ロータリー財団管理委員長
K.R. ラビンドラン

200万ドルの補助金プロジェクト： マラリア根絶プログラムをさらに拡大



<https://on.rotary.org/32zg5n1>

ロータリー財団は、成果が実証されている活動の規模を拡大する大規模プログラム補助金200万ドルを活用し、ザンビアでのマラリア根絶活動を支援しています。支援対象となった「Partners for

a Malaria-Free Zambia(マラリアのないザンビアのためのパートナー)」プログラムでは、マラリア発生への対応と感染予防において成果が実証されているモデルが使用され、ロータリアンが中心となって活動しています。このプログラムは、ザンビアの2つの州にある10の地区で、マラリア患者を90%削減することを目指しています。

マラリアは、マラリア原虫を媒体する蚊によって広がる疾病で、予防することが可能です。ザンビアでは、主要な疾病と死亡原因であり、特に乳幼児と妊産婦の死亡原因の一つとなってきました。

この補助金により、ザンビアのあらゆるレベルの保健当局と協力し、380人の医療施設スタッフへの研修を行い、2,500人以上の新しい地域保健ワーカーを訓練することで、国の保健体制を強化できます。これにより、被害の大きい地域に住む130万人以上の人びとがマラリアの診断と治療を受けることができるようになり、この致命的な疾病をなくすための国の取り組みに大きく貢献することができます。

米国ワシントン州のフェデラルウェイ・ロータリークラブが提唱するこのプログラムは、ザンビアでのマラリア根絶という目標を共有する地元ロータリー会員と協力団体が協力して実施されています。また、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とワールド・ビジョンUSAからそれぞれ200万ドルの共同資金が提供され、総額は600万ドルとなりました。

ゲイツ財団の担当ディレクターであるフィリップ・ウェルコフ氏は、「このプロジェクトは、ザンビアからマラリアを根絶するというザンビア政府のリーダーシップを補完するもの」と述べます。「私たちは、ロータリーやワールド・ビジョンとの長年にわたる協力関係をさらに発展させ、支援の手が届きにくい地域社会の発展と、マラリアを根絶するという目標の達成に貢献できることを嬉しく思います」

地域住民の診断と治療のために、保健ワーカーには、診断用キット、抗マラリア薬、ランセット(採血用器具)、教育用資料が提供されます。また、自転車と携帯電話を支給することで地域社会との連

絡と症例の定期的報告を可能にし、国の保健システムでデータを共有します。地域社会と国の情報が統合されていることを確認し、地域の保健ワーカーのネットワークを継続的に支援することは、マラリア対策の長期的成功を導く地域保健の強化という目標の達成に不可欠な要素です。

フェデラルウェイ・ロータリークラブの会員であるビル・フェルト氏は、地域社会の人たちによって選ばれたボランティアを強化することで、ヘルスケアの利用が制限されている地域社会の人びとの声を広く反映させることができると話します。

この実証済みの医療提供モデルは、効果的かつ持続可能で、地域レベルでマラリアを削減、根絶し、永続的な恩恵をもたらします

— ビル・フェルト(フェデラルウェイ・ロータリークラブ会員)

サハラ以南アフリカで10年以上にわたりロータリーのマラリア活動に携わってきたフェルトさんは、「この実証済みの医療提供モデルは、効果的かつ持続可能で、地域レベルでマラリアを削減、根絶し、永続的な恩恵をもたらす」と説明します。

ワールド・ビジョンのザンビア担当ディレクターであるジョン・ハッセ氏は、プログラム最大の魅力は、地元の保健ワーカーの力を活用できることだと話します。「これまでの経験から、支援を必要とする人びとがより簡単に医療を利用できるようにすることがいかに重要かを学びました」ハッセ氏はまた、効果的で実績のある地域戦略こそが、マラリアという恐ろしい疾病を減らし、国内でのマラリア根絶に近づくためのカギだと付け加えます。

新型コロナウイルスは依然として世界中で脅威となっており、プログラムのリーダーたちは、保健ワーカーや地域社会のメンバーが安全な環境を確保できるように準備を整えています。保健ワーカーの訓練は、人との距離を置くことを含め、新型コロナウイルス対応のプロトコルに従うこととなります。また、世界保健機関(WHO)とザンビア政府のガイドラ

インに従って、訓練コースの人数を制限します。個人用の防護具も提供され、ザンビアで新型コロナウイルスワクチンが入手可能になれば、保健ワーカーは、より効果的にワクチン活動を進めることになるでしょう。

世界予防接種週間 4月24～30日



「ワクチンの力を伝え広めよう」

世界予防接種週間(4月24～30日)にご協力ください

ポリオ根絶をめざすロータリーの活動を幅広く伝えるとともに、ワクチンの重要性について認識を高めましょう。ソーシャルメディアでメッセージを発信する場合は #VaccinesWorkのハッシュタグをご利用ください。

人の交流と物流が発展した今日、一部地域で発生した感染症が世界的な脅威となりえます。ワクチンは、健康と福祉を向上させるための最良の手段の一つです。新型コロナへの対応が行われている間も、ポリオやはしかなどの予防可能な疾病から子どもたちを守るために、予防接種を継続していく必要があります。

世界保健機関(WHO)によると、予防接種によって年間300万人もの命が救われています。ロータリーとGPEI(世界ポリオ根絶推進活動)のパートナー団体による協力活動により、ポリオによって身体まひとならずに済んだ人の数は1,900万人以上になると言われています。

ポリオ根絶活動におけるこれまでの前進は、ワクチンの有効性を証明するものです。このことを多くの人に伝えていきましょう。



『環境』の重点分野



ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組めます。

「地球を守るロータリーの取り組み」

ロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協力者たちによる以下のような活動に補助金を提供します:**7つ目の重点分野に期待**

1,840万ドル

地域社会の経済発展や水と衛生プロジェクトへの支援を通じて、過去5年間に環境関連の活動に充てられたロータリー財団グローバル補助金です。

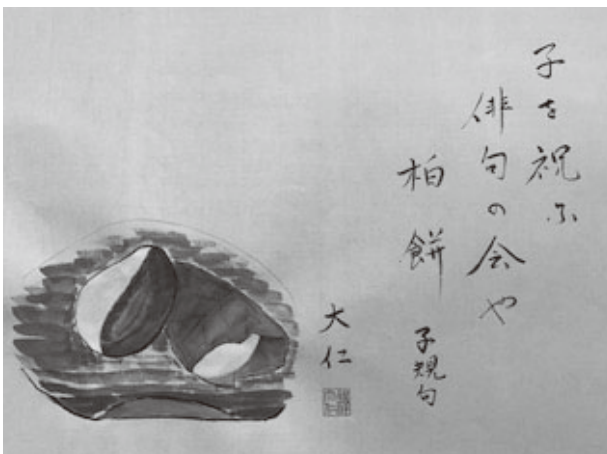
いる困難と希望ある解決策について説明します。
 フランチェスコ・メノンナさん
 (電力と再生可能エネルギー・シニアアナリスト)



「気候変動は何百万人もの人びとの生活を破壊し、今日すでに問題になっている移民圧力を一層悪化させる原因になりかねません」とロータリー奨学生であるメノンナさんは述べます。

メノンナさんは2014年にワシントンD.Cのジョンズ・ホプキンス高等国際関係大学院を卒業。ニューヨーク市のFitch Solutionsで電力と再生可能エネルギーのシニアアナリストとして働き、新興国や先進国の電力市場と再生可能エネルギーへの投資分析を専門としています。

子規の句に柏餅とべこ餅



端午の節句に柏餅

今回も正岡子規の句を紹介いたします。子規は子供の頃に父親と別れます。母八重の回想では、「乳児のころの子規は顔が異常に丸く、見苦しく、鼻も低かった。体質虚弱で背も低く、内向的だったことからよくいじめられていたという」幼くして家督を継ぐが、後見人や親族との関係も複雑であったと想像します。この句は明治33年の夏に詠んだもので、きっと幼き頃、父母が端午の節句を「柏餅」で祝ってくれたことを思い「夏人事」に掲載したのではと想像しています。しかし、他の句には薬や体調を詠むものが多くみられます。

この俳句の会に柏餅がお茶請けに出されたのかも知れませんね。余り家庭的に恵まれることのない子規にとって親を思う気持ちは誰よりも強かったと思われまふ。この句は亡くなる2年前のもので、ですから体調も優れない状態で、更に前向きに生きた精神力に頭が下がります。明治35年(1902年)9月19日に34歳の生涯を終えています。

辞世の句は、以下の三句で絶筆三句と呼ばれるものです。

「糸瓜咲て 痰のつまりし 仏かな」

「痰一斗 糸瓜の水も 間に合はず」

「をとひの へちまの水も 取らざりき」から子規の命日を

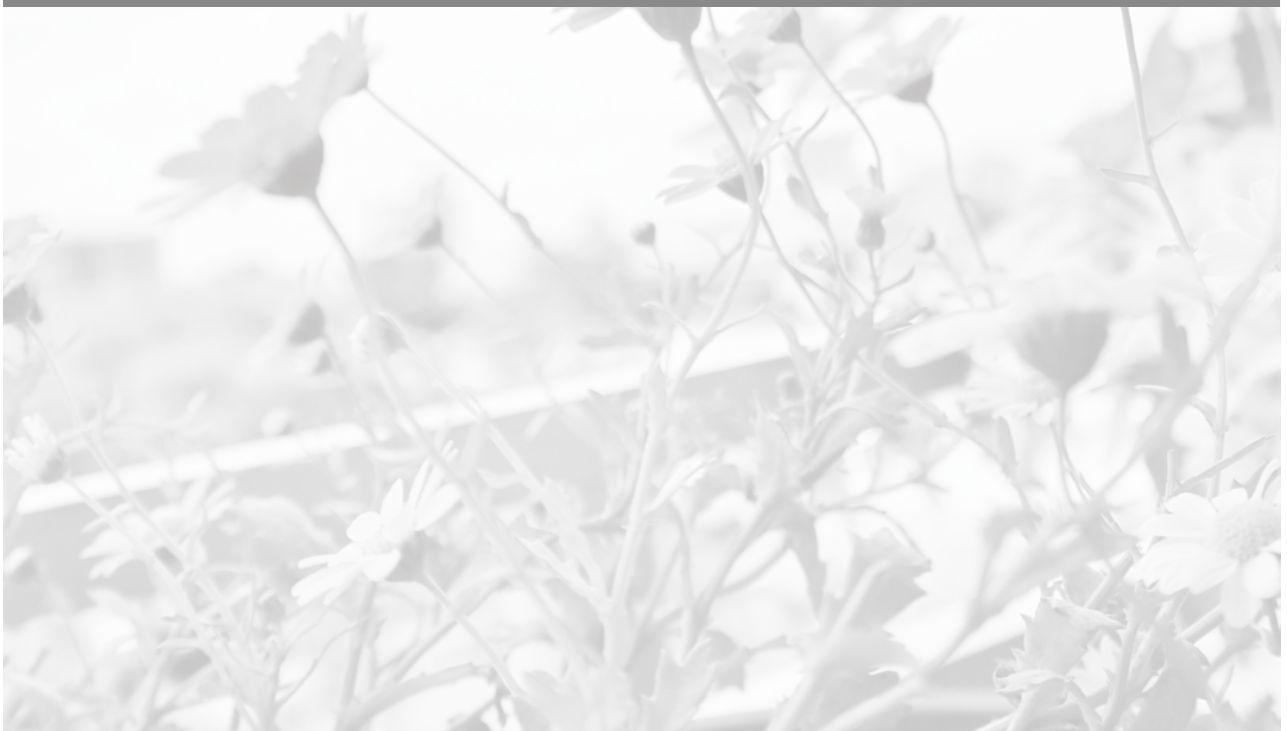
「糸瓜忌」と言うそうです。

私は俳句などに何の造詣もありませんが、母が俳句や短歌を喜んで句集なども出していたことが縁で、最近それを読んで母の心情を尋ねています。(羽部記)

地区カレンダー 6月

6月 ローターリー親睦活動月間			
1 火		16 水	
2 水		17 木	
3 木		18 金	
4 金		19 土	
5 土	余市RC周年記念式典:中止	20 日	現新地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議:オンライン開催
6 日	留萌RC創立60周年記念式典:中止	21 月	
7 月		22 火	
8 火		23 水	
9 水		24 木	
10 木		25 金	
11 金		26 土	
12 土	国際大会~16日(台湾・台北):オンライン開催	27 日	静内RC創立50周年記念式典
13 日		28 月	
14 月		29 火	千歳セントラルRC創立30周年記念例会
15 火		30 水	2020-21年度終了

2021年6月のロータリーレートは地区HPをご覧ください。



100周年



日本のロータリー100年の軌跡をあなたの本棚に ロータリー日本100年史

クラブ事務所に
1セット贈呈

ロータリー日本100年史編纂委員会

ロータリー日本100年の歩み



イメージです

『ロータリー日本100年史』を
6月末に発行いたします。
クラブ事務所に7月下旬から、
1セットを贈呈いたします。



先着順です！



100人のロータリアン

お早めに
ご予約ください！

クラブ贈呈出版のため
少部数を愛蔵者に先着順予約
販売いたします。

購入ご希望の方は『友』6月号同封のご案内状を
ご覧ください、各クラブ事務所を通じて友ウェブサイト
からお申し込みください。

本誌では「ロータリー日本100年の歩み」として、日本のロータリー発展を物語仕立てで紹介するとともに、ロータリーの創始者ポール・ハリスの思想がどのように日本で広まっていったかを、100年史編纂委員長の神崎正陳氏(1994-95年度第2780地区ガバナー)が解説しています。

別冊では日本でロータリーの発展に寄与したロータリアン100人の功績を写真と併せて掲載。また日本のロータリーの父・米山梅吉ををはじめ、ロータリーのリーダーたちの声・考えを掲載した「ロータリーの本棚」など、100年の歴史を読み解くと同時に、過去から現在に至るロータリアンの思いが伝わる内容となっています。

- 『ロータリー日本100年史』仕様:A4判
- 本誌「ロータリー日本100年の歩み」
「ロータリー日本思想の潮流」
 - 別冊1「100人のロータリアン」
「ロータリーの本棚」
 - 別冊2「年表・資料」
 - 上記全てを収録したCD




これらを
セットにして
ケースに
収納

価格:1セット**6,600円**(本体6,000円)送料別

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

- お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F
Tel.03-3436-6651 FAX.03-3436-5956

(操作方法)

	<p>① 『友』ウェブサイト(www.rotary-no-tomo.jp)を開く</p> <p>② 「HOME」の「クラブ・会員専用」 →「注文・各種変更」を選択 (左の画像参照 クラブ・会員専用欄の緑のボタンです)</p>
	<p>③ 「予約販売 受付」 →「ロータリー日本100年史」を選択 (左の画像参照 出版物注文欄の下に項目があります)</p>
 <p>申し込みが完了すると、 このような画面が表示されます</p>	<p>④ 画面に従って入力、送信</p> <p>⑤ 自動返信メールが届く</p>

※注意

自動返信メールが届かない場合は、受付が完了しておりません。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2021.4.30	増減	内女性
1	深 川	3	33	35	2	2
	羽 幌	2	42	38	-4	2
	妹背牛	2	7	7	0	0
	留 萌	3	27	26	-1	4
	小 計		109	106	-3	8
2	赤 平	3	20	20	0	2
	芦 別	3	29	27	-2	2
	砂 川	4	39	39	0	1
	滝 川	3	81	83	2	5
	小 計		169	169	0	10
3	美 唄	4	24	24	0	0
	江 別	4	35	37	2	1
	江 別 西	4	36	36	0	4
	岩 見 沢	4	90	91	1	1
	岩見沢東	3	15	17	2	2
	栗 沢	2	18	18	0	1
	栗 山	4	26	26	0	5
	当 別	2	28	28	0	0
	小 計		272	277	5	14
	4	札 幌	3	125	125	0
札幌はまなす		3	16	17	1	2
札 幌 北		3	43	42	-1	4
札幌モーニング		3	35	36	1	0
札 幌 西		3	51	50	-1	10
札幌西北		4	34	35	1	3
札幌手稲		4	36	38	2	4
小 計			340	343	3	24
5	札 幌 東	4	112	116	4	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	3	51	57	6	3
	札幌真駒内	3	20	20	0	6
	札 幌 南	3	86	81	-5	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	16	15	-1	4
	新 札 幌	3	25	27	2	5
	小 計		333	339	6	26
	6	岩 内	4	23	23	0
倶 知 安		2	33	33	0	3
小 樽		4	71	72	1	4
小樽南		5	64	64	0	3
小樽銭函		3	19	18	-1	1
蘭 越		3	8	8	0	0
余 市		4	40	40	0	4
小 計			258	258	0	16

4月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,508人(175人)
増加会員数	15人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2021.4.30	増減	内女性
7	千 歳	3	74	75	1	10
	千歳セントラル	2	43	43	0	9
	恵 庭	4	49	46	-3	3
	北 広 島	3	15	15	0	0
	長 沼	3	17	16	-1	3
	由 仁	2	8	9	1	1
	小 計		206	204	-2	26
8	え り も	2	19	19	0	1
	三 石	2	11	11	0	0
	様 似	3	14	15	1	1
	静 内	3	67	64	-3	4
	浦 河	4	27	27	0	3
	小 計		138	136	-2	9
	9	伊 達	4	62	61	-1
室 蘭		4	30	32	2	2
室 蘭 東		3	32	32	0	2
室 蘭 北		4	48	53	5	1
登 別		3	29	28	-1	1
洞 爺 湖		2	12	12	0	1
小 計			213	218	5	9
10	函 館	4	68	69	1	3
	函館亀田	4	36	35	-1	4
	森	1	33	32	-1	0
	七 飯	4	14	15	1	0
	長 万 部	1	10	10	0	0
	函館セントラル	4	23	22	-1	2
	小 計		184	183	-1	9
11	江 差	2	10	9	-1	1
	函館五稜郭	4	53	51	-2	0
	函 館 東	4	35	37	2	8
	函 館 北	3	18	17	-1	1
	北 斗	4	12	12	0	0
	小 計		128	126	-2	10
12	白 老	2	31	31	0	3
	苫小牧	4	55	60	5	2
	苫小牧東	3	28	30	2	6
	苫小牧北	2	29	28	-1	3
	小 計		143	149	6	14
合 計		2,493	2,508	15	175	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

表紙の解説

積丹半島の付け根に位置する後志管内岩内町。漁業、農業を主な産業とし、日本でのアスパラガス栽培の発祥の地として知っている人も多いかも知れません。そんな岩内町出身の著名人であり、有島武郎の小説「生れ出づる悩み」のモデルで知られているのが画家の木田金次郎。その作品を展示する木田金次郎美術館は全国的にも珍しい『町立民営』の美術館なのです。

町では木田金次郎没後20年の節目を機に美術館設立の機運が高まり、昭和60年代から作品の所在調査が実施されました。木田の作品は、昭和29年に町の8割を焼き尽くした大火でその多くが焼失してしまい、人から人へ全国に散った作品も、どこにあるかがわからないままでした。そこで町民主導の調査によって、約90点の所在が判明。寄贈や貸与を受けて町に作品が集まり、平成6年に町立の木田金次郎美術館が設立されることになりました。

町が設立した美術館の運営は、開館後、NPO法人岩内美術振興協会に委ねられ、地域の人々の手で支えられてきました。

…「まちおこしレポート」より抜粋



ICT委員会からお知らせ

なかなか終息のみられない新型コロナ。そんな時に便利なWeb会議ツール
ロータリアンの為の「zoom 裏技講座」
オンライン会議をもっと快適にする意外と役立つ小ワザたち。

■美肌モードを利用する

最近、自宅からオンライン会議に参加も多くなり、特に女性の場合、自宅にいるのに会議のためにメイクをするのは面倒だと感じる人も多いのでは？そこでZoomには美肌モードと言う、肌を美しく見せてくれる機能があります。Zoomの設定画面の「ビデオ」項目からWindowsは「外見を補正する」、macOSは「ビデオフィルタを適用する」をチェックします。さらに、照明は大切です。明かりは自分の前に持つようにしましょう。

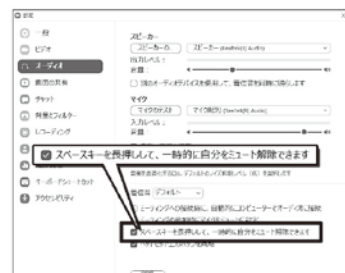


■バーチャル背景設定

バーチャル背景を使用すると、Zoomミーティングを使用中、任意の画像を背景として設定できます。自宅などでも シンプルな背景であればZoomが自動で人物と背景を切り分けてくれるので非常に便利です。

■スペースキーを長押ししている間だけミュート解除

基本、マイクをミュートにしておくことが好ましいと思います。ノートPCやスマホの内蔵マイクでも、結構な感度で周囲の音を拾っています。話すたびに、いちいちマイクをON/OFFする作業は面倒というのわかる気はします。そんな人にオススメなのが、スペースキーを押している間だけ、一時的にミュートを解除できる機能。自分がしゃべる時だけ、スペースキーを押しながら話す習慣を付けてみてはいかがでしょうか。スペースキーを長押ししても何も起こらない場合は、Zoomでオーディオの設定から[スペースキーを長押しして、一時的に自分をミュート解除できます]のチェックボックスがONになっているか確認してみてください(図参照)。



ICT委員会 委員長 堀元 雅司



District 2510

第6グループ各クラブの例会場

●岩内RC(食事処 日本海)



●倶知安RC(ホテル第一会館)



●小樽RC(グランドパーク小樽)



●小樽南RC(オーセントホテル小樽)



●小樽銭函RC(銭函大山)



●蘭越RC(蘭越町ふれあいプラザ21)



●余市RC(北海道信金余市支店)

